

平成 25 年度 公益社団法人 日本動物学会 第 1 回理事会 議事録 (案)

日時 平成 25 年 9 月 25 日 (土) 13:00~17:00

場所 岡山大学一般教育棟 B 棟 3 階 第 4 会議室 (B31)

出席者: 理事 16 名; 阿形、岡、武田、出口、田村、赤坂、稲葉、窪川、蟻川、沼田、内山、富岡、飯田、高畑、山下、尾崎

監事 1 名; 長濱

事務局: 永井

欠席者: 理事 2 名 (井口、高宗)、幹事 1 名 (佐藤)

開会にあたり、武田庶務担当理事より、理事 18 名中 16 名が出席で、理事会が成立していること、また公益化後の議事録署名人は会長及び出席した監事となっていることが報告された。さらに、定款第 33 条により議長は阿形会長が務めた。

報告事項

1. 会長報告

- ・ 9 月 2 日付で税額控除団体承認、事務局等の努力に感謝
寄付者の方への税額控除が可能となった
今後も寄付が重要なので、引き続き寄付文化の醸成に努力したい
- ・ 1991 年以來の岡山での開催にこぎつけた、大会準備委員会へ感謝
- ・ 今回の本部企画は 2008 年ノーベル化学賞受賞者下村修博士の講演が実現
- ・ 動物学会が幹事として実施した男女共同参画に関する第 3 回大規模アンケートは成功裏に終了。担当理事他協力者に感謝

2. 岡山大会の現況 (高橋大会委員長)

- ・ シンポジウム 16、関連集会 7 など、大阪大会とほぼ同じ演題規模の大会となった
- ・ 高校生ポスター 58 題で、審査は近畿支部の会員で行う
- ・ 動物学ひろばを最終日に玉野市玉野海洋博物館で実施予定
- ・ 本部企画の下村博士の GFP 発見に至るまでの特別講演に加えて、公開講座をウナギの産卵場所を同定した塚本勝巳博士の講演で行う予定

審議事項

1. 平成 24 年度公益社団法人 日本動物学会 事業報告

武田庶務幹事の報告通り、承認された。

2. 平成 24 年度公益社団法人 日本動物学会 決算報告書

出口会計幹事の報告通り、承認された。

3. Zoological Science (ZS) 出版について

倉谷編集主幹を交えて、ZS の出版形態等の将来計画について審議した。特に、動物学の分野で、インド、台湾から article processing charge (APC)-free のオープンアクセスの雑誌発行される事態を見据えて、ZS の大手の商業出版への移行、オープンアクセス化について、これまでに出された支部からの意見を元に、さらに議論した。その結果、ZS は基本的にこのままで維持しながら、オープンアクセス刊行支援の科研費を申請し、獲得することを目指し、新しいオープンアクセス雑誌を立ち上げる方針を了承した。

4. 平成 25 年度支部活動補助金額について

事務局長より、平成 25 年度支部活動補助金額について、説明があった。平成 25 年 7 月 11 日に「平成 24 年度ベースでの支部活動費」を送金したが、決算が出たので、昨年 8 月にすでに一部を送金したことを踏まえて、その差額を振り込むこととした。なお、次年度からは、常に「前年度支部活動補助金相当額」を振り込むこととする。

報告事項

3. 庶務報告（武田理事）

今年度の新入会員は現在 228 名。全体として微増である。

4. 会計報告（出口理事）

述べられたことをお書きください(永井)

5. 男女共同参画（窪川理事）

資料を元に、16,000 件にわたる第三回大規模アンケート等の活動報告が行われた。

学会会場、懇親会では、求職ロゴ（受付ブースに求職ロゴ用紙、専用名札ケースがあり）の活用を推進する。

6. 将来計画および国際交流（稲葉理事、山下理事）

2 つの委員会が合同で「大会の完全英語化に向けた方策とそれらの実施時期」に関する提言がまとめられた。大会の全面的な英語化には慎重意見が多いが、各ステップについては、今後の大会の大会長の判断で進めていくことになる。

特に 2016 年の国際動物会議（沖縄）と連携する沖縄大会が試金石となる。

演題登録システムの英語化も改修費用等の問題で課題となる。国際交流活動（稲葉理事）については、現在キックオフイベントを計画中である。

7. 図書（飯田理事）

出版・図書委員会報告がなされた。

Springer からの Series 出版に向けて、5 冊の内容が固まった。今後メール審議で理事の意見を募り、最終決定の見込み。

丸善から依頼があった「動物学事典」の出版については、今後検討する。

8. 渉外（寄付について）（内山理事）

2012 年 7 月から 2013 年 6 月の間に、126 名の方から寄付をいただいた。このうち、

3000 円以上が 113 名。これにより、公益社団法人日本動物学会は 9 月 2 日付で税額控除団体として承認された。

今後も寄付を継続的に受け入れ、さらに増やすことが重要であるが、以下の工夫がさらに必要。

- ・ HP の home 画面に「寄付箱」のバナー、タグを用意すべきだ
- ・ 趣意書、感謝状の用意
- ・ ワンクリックで寄付ができるような工夫、PayPal などを検討すること。

9. 仙台大会について（田村理事・大会実行委員会委員長）

2014 年 9 月 11 日(木)から 13 日(土)、川内キャンパスで開催予定。会場費の関係で東北大学との共催となる。プログラムの IT 化については今後検討する。

10. 新潟大会について（赤坂理事）

濱口 哲大会実行委員会委員長の下で時期、場所を検討中。2015 年 9 月 16 日（水）から 19 日（土）開催が有力。

11. 国際動物学会議と沖縄大会について（飯田理事）（別紙 X）

佐藤矩行会員が議長の国際動物会議 2016 年 10 月 12 日（土）から 17 日（木）、沖縄科学技術大学院大学(OIST)で開催予定。

国内大会は 2016 年 10 月 17 日（木）から 19 日（土）に那覇市内で開催予定。会場は、自治会館（総会やシンポジウム）とタイムスビル（ポスター発表および公開企画）を仮予約。国際動物会議と最終日（17 日）を重ねて、合同のシンポジウムやワークショップを開催予定。

国際動物学会議と国内大会との連携については、さらに強化した方がよいという意見もあり、会長、武田庶務幹事、佐藤矩行会員、沖縄大会実行委員会委員長等と今後さらに協議する。

平成 25 年 月 日

議長 阿形 清和

議事録署名人 長濱 嘉孝